

平成26年度

施政方針説明

3月6日、定例村議会の初日に行われた平成26年度施政方針説明で、平田大六村長が村政運営の基本方針と主要事業について述べました。予算編成を除き、ほぼ全文を掲載しました。予算の説明は8〜12ページをご覧ください。

さて、私どもの関川村は、昭和29年8月1日に誕生し、歴史を重ね今年60周年を迎えます。これまで村勢発展に努力されてこられた歴代村長や先輩諸氏、そして現在も活躍されている大勢のみなさんに敬意と感謝を申しあげます。

また、旧2級国道では全国最初の道の駅として整備された「道の駅関川」、それにつながる「歴史とみちの館」は、ともに20周年を迎えます。その中心であります村のシンボルの存在の国の重要文化財渡邊家住宅の大規模改修事業が、今年12月には完了の予定であります。

このように今年は、村として記念すべき出来事が数多い年であります。これらの周年式典や関連事業について、できるだけ早く具体的な内容を詰めて村民のみなさんにお知らせし、ご理解とご協力を得たいと思っています。

昨年の10月に開催しました「The MATSURI サミットin関川村」は、泉田県知事にもご出席いただき、予想を大きく上回る盛況となり、関川村の名を大いに高めることができたものと、関係

された大勢のみなさんに感謝しております。今年も周年事業などで、大勢のみなさんに来村いただき、いつそう関川村の知名度向上に努めたいと思っています。

地方を取り巻く状況

1月24日に開会した国会の冒頭、安倍首相は施政方針演説を行って、政権の目指すべき方向を示しました。

「我が国には元気で経験豊かな高齢者がたくさんおり、あらゆる人が社会で活躍し、その活躍できるチャンスをつくる。そうすれば、少子高齢化の下でも日本は力強く成長できるはずだ」と述べ、また、地方の活性化については「人口減少が進む中においても、元気な地方をつくる。これはおおいなる挑戦である。中山間地などの地方に住んでいるみなさんが、伝統あるふるさとを守り、美しい日本を支えている。地方には特色ある産品や伝統、観光資源などの「地域資源」があり、そこに成長の「可能性」がある」と述べ

るなど、国民の奮起を促しています。

私は、政府の各省庁や関係機関が首相の方針を受けて、わが村のような地理的に不利な条件の地域においても、希望の持てるようにするため、行政各般への支援を行ってほしいものと思っています。

平成26年度の政府予算案はいま、国会で審議中であります。これに関連して、政府は2月7日に地方財政計画を閣議決定し、国会に提出しました。この地方財政計画は、国の地方対策の指針を定め、かつ地方の財政運営が安定的に行えるように地方交付税等の一般財源総額を確保するためのものであります。計画の規模は、前年度を1・8%上回る83兆3360億円となりました。財源不足の自治体に配分される地方交付税について、国では必要額は確保するとしているものの、総額が減っているうに、村の場合は人口減少や学校統合などにより、厳しい状況であります。

村政運営の 基本的な考え方

村の基本的な方向を定める第5次関川村総合計画並びに村政の基本理念である関川村むらづくり基本条例にしたがつて平成26年度も村政を執行します。しかし、何分にも自主財源が乏しく、国や県の動向を見定めた動きにならざるを得ません。

以前から私が掲げてきました、村の資源を有効活用し産業の活性化を図ること、地域の連帯によるむらづくりと地域力の維持向上を図ること、子育てしやすい環境づくりを進めること、この3つを26年度も基本にして村政を運営したいと思っています。

以下、施策分野ごとに考え方を説明します。

《社会基盤と 生活環境の整備》

道路整備

国道113号に沿う地域高規格道路新潟山形南部連絡道路「鷹の巣道路」は、すでに工事が進められ、予算が増額されて進展する見通しであります。今後は、平成11年に調査区間に指定されている金丸



—小国町間12キロについて、早期に着工可能となる「事業区間」に格上げされるよう沿線町村と協力して国に要望してまいります。

また、県管理の国道290号について、工事中の上土沢—国道113号間は、一部に事業用地の確保に苦慮しているものの、順調に進んでいます。その完成を待って、高田橋以北の既定路線の整備を促進するよう要望を重ねてまいります。

村道の改良や補修、消雪施設の改修につぎまして、各集落からたくさんの方の要望をいただいています。財源状況をみながら急いで対応すべき箇所について進めてまいります。

老朽化対策

村内の道路や橋、農業関係施設などは、昭和42年に発生した羽越大水害に伴う復旧工事として建設されたものが多く、老朽化が進んでおり、これらの計画的な対応を検討いたします。

交通機関対策

村内の路線バスとJR東日本本の米坂線は、住民にとって大切な交通機関であり、利用しやすくなるよう関係会社と協議を重ね、将来とも存続するように努めます。



ゴミ処理

村内のゴミについて、焼却などの処理は村上市に委託して実施しています。村上市の新たな処理施設の建設もすでに着手され早期の完成を目指しておりますので、応分の負担をしながら完成を願っています。

防災・交通安全

いま首都圏や東海、東南海地域で大規模な地震・津波の発生が想定され、また大地震の後の火山噴火も危惧されるなど、全国で防災・減災への備えの重要性が認識されています。

防災には自助・共助が重要であります。村ではこれまで各集落単位での自主防災会の設立を呼び掛けてきました。ようやく人口の約8割で組織化されています。1月には情報交換と共同事業の場として関川村自主防災会連絡協議会が設立されました。これらにより、住民意識を高め、さらにリーダー研修を行い、そして各種災害を想定した訓練をすることが容易になりそうです。